



■ 第2回(12月)定例会

議案審議／補正予算／賛否の状況	2～4
市政を問う(一般質問)	5～13
ようこそ朝来市へ／日程(3月定例会)	14

あさごまるまるマルシェ
(虎臥陣太鼓体験の様子)

第4次朝来市行財政改革大綱が成立

デジタル化やふるさと納税の推進で健全な財政運営を



12月定例会が1日から27日まで開かれ、条例の一部改正、指定管理者の指定、令和3年度補正予算等が提案されました。

行財政改革大綱の制定及び条例の一部改正については、所管する常任委員会で、補正予算についても、予算決算特別委員会で審査を行いました。

最終日に提案された行政組織条例の一部改正については、閉会中の継続審査として、総務常任委員会へ付託しました。

第4次朝来市行財政改革大綱を定めることについて

自治体DXが力ぎ
行政サービス向上と経費節減には

第3次朝来市行財政改革大綱が令和3年度で計画期間を満了することから、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする第4次朝来市行財政改革大綱を定めるため、議会の議決を求めるものです。

総務常任委員会で審査し、賛成多数で原案のとおり可決しました。

※自治体DXとは
デジタル技術を活用して行政サービスを変革すること

「高度化する業務」とは。
行政のデジタル化の推進に向けたICT等の技術が必要になることから、業務への取り組みが高度化している状況と考えている。

問 市民にとって「幸せが循環するまちづくり」とは何か。
答 行財政改革においては、デジタル化の推進により職員の超過勤務等の削減が進み、結果として市民にとっての幸せが実現できるまちづくりに繋がると考

問 質疑
本大綱案では行財政改革が実現できる見込みがない。担当課に再考を促すため反対する。



△証明書交付サービスが始まっています。
(市役所本庁舎、コンビニエンスストア等)

賛成

水田議員
森下議員
上田議員

行財政改革は職員が一丸となるないと実現しない。市長のリーダーシップに期待したい。

業務のデジタル化に本腰を入れ、戦略的な取り組みが重要だ。

本大綱の目玉である行政のデジタル化により、自治体DXの取り組みが進むことを期待する。

討論

反対

吉田議員
日下議員
横尾議員

本大綱案では行財政改革が実現できる見込みがない。担当課に再考を促すため反対する。

市民が十分納得できる内容か疑問がある。これでは子どもたちに夢や希望を与えられない。

国民健康保険税条例の一部改正

未就学児の均等割負担額を半減

未就学児に係る国民健康保険税被保険者均等割額の減額措置を規定した地方税法の一部改正を含む全世代対応型の社会保険制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の条例整備をしようとするものです。文教民生常任委員会で審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

【改正内容】

国民健康保険税は、1世帯ごとに、均等割（1人ずつ計算）、平等割（1世帯ずつ計算）、所得割を計算しその合算として算定されるが、子育て世帯の経済的負担を軽減するために、令和4年4月1日から、全加入世帯の未就学児を対象に、均等割の5割を軽減する。



P2～P3の動画をご覧いただけます

問 答 質疑
未就学児の均等割を5割軽減するその財源は。
市全体で未就学児の均等割部分の減収額は約180万円の見込み。その財源は、国が2分の1、県と市が4分の1ずつとなり、市は一般会計から国民健康保険特別会計へ繰り出しする。

軽減割合	均等割額 (法定軽減後)	減額後均等割
軽減なし	32,800	16,400
2割軽減	26,240	13,120
5割軽減	16,400	8,200
7割軽減	9,840	4,920

▲改正後の均等割額(令和3年12月時点の額)

【改正内容】

国民健康保険の被保険者が出産したときに世帯主に支給される出産育児一時金等（42万円）のうち、産科医療補償制度の掛金は1万6,000円から1万2,000円に減額されることになるが、出産育児一時金等の総額は維持されるため、令和4年1月1日から、出産育児一時金を40万4,000円から40万8,000円に増額する。

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金を4000円増額

産科医療補償制度における補償対象基準の見直し及び健康保険法施行令等の一部改正により、出産育児一時金等の金額が改められることから、所要の条例整備をしようとするものです。文教民生常任委員会で審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

※産科医療補償制度とは

分娩の際に発症した重度脳性まひの子どもと家族の経済的負担を補償する制度

お産の「もしも」を支える
「産科医療補償制度」



答 問 質疑
掛金が減額される分、個人に入る一時金が増えるという理解でよいのか。

答 問 質疑
掛金が減額される分、個人に入る一時金が増えるという理解でよいのか。

答 問 質疑
掛金が減額される分、個人に入る一時金が増えるという理解でよいのか。

一般会計補正予算

補正予算（第10号）の附帯決議を可決

一般会計補正予算（第10号）に関する附帯決議

子育て世帯への臨時特別給付金が実際に必要とされる子育て世帯に行き渡らない事案がある。市独自で実態把握に努め、取り残される子どもがないよう対応を検討されたい。

※附帯決議とは
議案を可決する際に付け加える議会の要望

令和3年度一般会計の補正予算（第8、9、10号）は現計予算額に合計4億6110万円を増額し、総額207億6270万円とするものです。補正予算（第10号）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するための子育て世帯等臨時特別支援金事業を追加するもので、全会一致で可決しましたが、議会の意思を市長に示すため、附帯決議を行ないました。



▲子育て世帯へ素早く対応
臨時特別支援金10万円を一括支給



補正予算（第10号）の動画をご覧いただけます

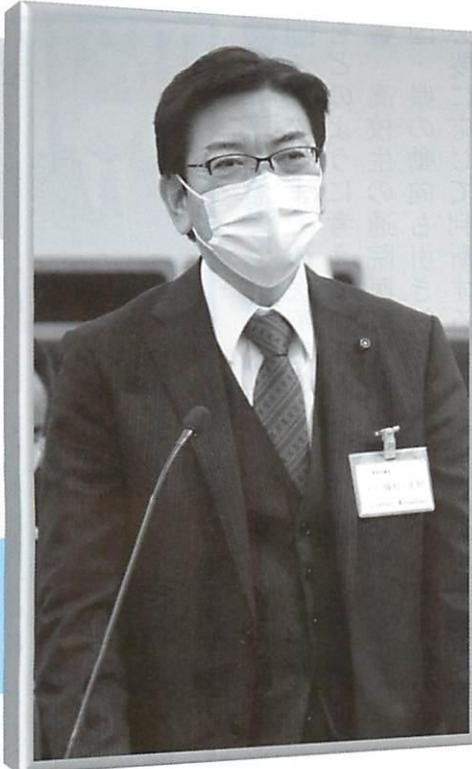
賛否が分かれた議案

議案名	議員名	松井道信	藤原正伸	尾崎里美	吉田俊平	加藤貴之	関綾乃	森下恒夫	森山博	水田文夫	藤本邦彦	森田龍司	浅田郁雄	日下茂	横尾正信	足立義美	渕本稔	上田幸広	西本英輔
議案名		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
第4次朝来市行財政改革大綱を定めることについて		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

賛成した議員は○ 反対した議員は× ※議長には通常、表決権がありません。

全会一致で可決・答申した議案等

議案名	
条例改正	朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
	朝来市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
	朝来市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
指定管理	朝来市たけだ城下町交流館の指定管理者の指定について
令和3年度補正予算	令和3年度朝来市一般会計補正予算（第8号）について
	令和3年度朝来市一般会計補正予算（第9号）について
	令和3年度朝来市一般会計補正予算（第10号）について
諮詢	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて
発議	令和3年度朝来市一般会計補正予算（第10号）についてに関する附帯決議



市政を聞く



一般質問(代表・個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い合わせし、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容は各議員が560字以内にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

問 JR生野駅跨線橋通路について申し入れがあつた時期は、昨年11月にJRから老朽化

答 公共施設を縮減する方針だけでは夢がなくなる。時には大胆な大型投資を行い、夢と希望のある市にしなければならない。産業団地の造成や、観光産業と連携した夜久野高原開発等、経済基盤の確立をめざしたい。

○生野駅跨線橋を守れ



▲利便性の高い生野駅の跨線橋通路



稼ぐ自治体になるべし

生野駅跨線橋通路を守れ

清風の辯 淳本 稔

問 今後、国からの交付税等の歳入が縮減していくので、デジタル化により効率的な行政運営を図るべき。

答 国のデジタルトランスフォーメーション推進計画の財源を活用しながら、デジタル化を推進する。

問 歳入の増大を図るため、ふるさと納税を拡大する必要がある。先進地をみならうべき。

答 プロモーション活動の実施や、市場ニーズに合った返礼品企画する。

問 跨線橋通路のコンクリート等の強度について、具体的な数値をもつての話はあるのか。

答 築69年で老朽化していると話されている。

に伴う協議の申し込みがあり、まだ危機感はない状況だった。

問 跨線橋がなくなれば大きな影響が出る認識はあるか。

答 踏切を回って西口で切符を買うのに5分程度かかり、大雨や大雪では利便性が低下。高校生や観光客にも影響が出る。区長会等と連携してとりくむ。



○安全快適な自転車環境の整備に向けて

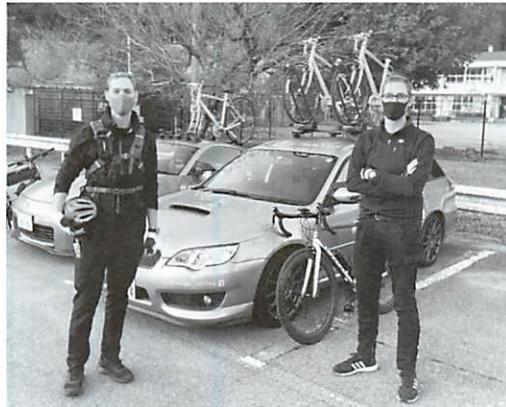
自転車通学の安全性は。年度当初に行う交通安全教室や日々の立ち番のほか、学校関係者と警察等の連携組織により、危険箇所の点検等、安全対策を行っている。

○自転車観光の現状は。

県内各組織と協力してサイクリングルートの選定や標識の設置を行った。また、観光協会や地域おこし協力隊と連携し、各種イベントを行っている。

○公共交通の利便性確保のためには

関係機関と連携し、通学路・サイクリングコースの安全確保に努めていく。



▲多様な移動手段の共存を！

○新交通「グリーンスローモビリティ」活用の可能性は。

令和元年度に秋葉台団地で試験運行を行った。利用者の半数以上がその必要性を感じている。積雪への対応が課題である。



▲市内の水管橋



自動車に依存しない社会を

加藤貴之



○アコバスの予約制は不便という声がある。

市民の声を受け止め、より良い運行に努める。

○民間バスの減便で市民は本当に困っている。市の対応は。

地域に出向いて説明をし、今後のバスの在り方を検討する。

○買い物困難の解消に向けて

買い物支援に取り組む事業者への公的支援が必要では。官民連携した取り組みを進めしていく。

○介護保険料について

受給者数は令和2年度末でのべ1万787人。受給額は個々で異なり満額で約78万円。

○年金からあらかじめ介護保険料が引かれる生活が苦しいとの声を多く聞く。この市民の声を国へ訴えることが必要では。

介護保険料は所得状況により10段階に分かれる。介護事業の財源は国等の公費が50%、65歳以上の方の保険料が23%と介護保険法で定められている。

○通学路の除雪について

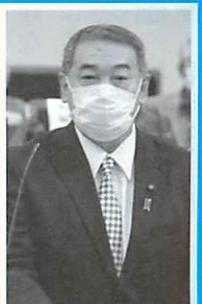
枚田小学校周辺の通学路の除雪ができないようだ。

○水道管路の管理状況について

市内の水管橋の数と、その管理現状は。

水管橋は259基あり、定期的に点検を行っている。今年度、全ての点検を行った結果、大きな異常は確認されていない。

○水管橋の約9割を占める給水管の分岐がある配水管は、昨年度、AIを用いた水道管劣化診断を実施し、順次、更新を行なっている。これは厚生労働省のモデル事業に採択されており、今後も先進技術を取り入れながら、水道管の重要度や劣化状況を勘案し、水道管の布設替えを行なう予定としている。



市民のためにやさしい社会を

浅田郁雄



人にやさしい市政を



尾崎里美



住んでよかつた朝来市に！

関綾乃



○健康福祉部の仕事について

問 健康福祉部には幾つ課があり、朝来福祉事務所との違いは。

答 社会福祉課、高年福祉課、ふくし相談支援課、地域医療・健康課の4課があり、社会福祉等の事務を持つ。福祉事務所は市の事務のうち、生活保護法や児童福祉法等の事務を司る。

○不適切対応について

問 支払い決定を受けた保護受給者が家主に住宅費を支払っていないと聞いている。家主から相談を受けた職員が面談を忘れていたり、高圧的な弁護士発言が続く実態は、住み続けたい朝来市を目指す市長には不本意な対応と思うが。



▲社会福祉課の相談窓口

答 職員には対面で適切な対応をするよう指導していきたい。

○ETC障害者割引について

問 ETC障害者割引が2年間放置された事案の再発防止策は。

答 二重三重にチェックを行うよう改善している。

○児童虐待防止策について

問 虐待を疑われた家庭から、職員の弁護士対応発言で不愉快な思いをしたという話を聞いている。職員は市民の気持ちに寄り添った対応が必要ではないか。

答 市民に寄り添った対応が必要と思っている。弁護士相談発言は今後改めて行きたい。

○広聴の機会について

問 市民の声を聞く機会は。まちづくりフォーラム、ふれあい市長室、ふれあいトーク、あさご未来会議など。

問 ここで出た意見をどのように施策に反映させるのか。

答 現場の意見を参考に、担当課に事務事業の見直しや政策立案等の検討を指示し、事務を進める流れとしている。

○アレルギーに対応する学校給食について

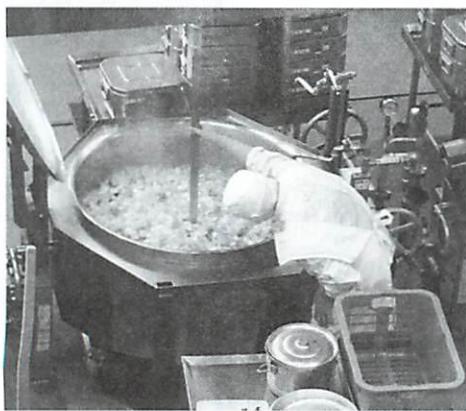
問 アレルギー除去食が必要な児童、生徒は何人いるか。

答 現在、市内に61人いる。

○特別支援学級について

問 特別支援学級に通う人数は。令和3年度は88名、令和4

答 基本的には、必要な薬など児童生徒本人が携帯・管理・使用するのが望ましい。本人が困難な場合は、教職員が対応するよう学校ごとに決めていく。



▲給食センター調理室にて(検温中)

年度は104名の見込みである。

○支援学級に通う決定はどのように行われるのか。

答 教育支援委員会で判断された結果をもとに、県の教育委員会が最終決定する。

○全天候対応型運動場について

問 建設を望む声が大きいが。懇話会の意見等も勘案し適切な整備に向け進めていきたい。

が連携し、「佐中千年家」、「原六郎」をはじめ、朝来の歴史・文化的価値を見直し、次世代に語り継ぐ活動を始めており、市はこの活動を支援している。

問 進藤家は地域を代表する建物。改修後の活用は。

答 所有者は観光客や学生向けに古民家再生保存のための講座、現地見学会、一般希望者への隨時見学会の開催など、活用を計画されている。

○企業誘致について

問 企業誘致をする際の朝来のセールスポイントは。

答 本市のリーディング産業は、金属製品、一般機械、食品等の製造業である。これらの企業と取引する市外企業が多いこと。主要国道、高規格道路の交通結

○企業誘致について



▲古民家再生促進支援事業で茅葺屋根葺き替え等改修中の進藤家住宅(2021年12月)

○進藤家住宅について

○進藤家住宅について



住み続けたい

二

水田文夫



問 節点であること。地震発生のリスクが低いこと。本市の企業誘致に関する支援制度で6年間支援することなどが強みであると答える。

産業をより強くするには、人材育成が必要。但馬技術大学校など学校とも連携をしながら人材育成、確保をすべきでは。高校生を対象に仕事ゼミ、キャリアアート・クカフェを実施し多くの方に地元に残っていただきけるよう、また、優秀な人材を確保する対応をしている。

○朝来市の防災について



安心・安全の街づくり

松井道信



○朝来市の防災について
問 答 朝来市地域防災計画とは。
人命が失われないことを最優先に、経済的被害が出来るだけ少なくなるよう、様々な対策を組み合わせて災害に備えるこ

問 今後、実践につながるよう研究していただきたい。

答 一斉避難訓練時に消防団との連携を考えてはどうか。

一斉避難訓練のみならず、様々な場において、今後一層連



▲河川にたまる堆積土砂

○朝来市の防災について

問 朝来市地域防災計画とは。
答 人命が失われないことを最優先に、経済的被害が出来るだけ少なくなるよう、様々な対策を組み合わせて災害に備えることとする計画である。

問 今回のハザードマップは配布だけに終わってないか。
答 見やすさへの配慮、工夫には最大限務めていく。併せて、情報提供も推進していく。

問 一時避難所は避難所としての要件を満たしているのか。
答 施設の設備・立地条件は市職員によつて現況調査済である。

問 避難所でのマイノリティー問題をどう捉えているのか。
答 災害時の支援に係るニーズは多様化・複雑化しているが、外部機関等を含めた関係各課で情報交換をし配慮に努めていく。

問 DIG・HUGに積極的な取り組みをすべきでは。
答 DIG・HUGどちらも有効な手段であると考えるので、

今後、実践につながるよう研究していただきたい。

問 一斉避難訓練時に消防団との連携を考えてはどうか。

答 一斉避難訓練のみならず、様々な場において、今後一層連携が深まるように働きかけを行っていきたい。

問 河川の堆積土砂撤去を問う

答 河川管理に関しては、適宜現地確認を行い、それぞれ必要な措置を依頼し、効果的かつ早い対応が実施できる体制で取り組んでいる。

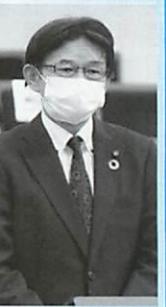
答 施設の設備・立地条件は市職員によつて現況調査済である問題をどう捉えているのか。

答 避難所でのマイノリティー災害時の支援に係るニーズは多様化・複雑化しているが、外部機関等を含めた関係各課で情報交換をし配慮に努めていくく取り組みをすべきでは。

問 D I G・H U Gに積極的な効な手段であると考えるので、

問 企業誘致をする際の朝来のセールスポイントは。
答 本市のリーディング産業は金属製品、一般機械、食品等の製造業である。これらの企業と取引する市外企業が多いこと。主要国道、高規格道路の交通結

幸齢社会を目指して



上田 幸広



持続的発展めざす
地域の課題

藤本邦彦



○高齢化社会について

市内の高齢化率と将来予測は、令和3年2月現在36・4%で、県内で13番目に高い。2040年には44・4%と予測する。

地域で元気に活躍される高齢者を「いきいき元気高齢者」として称賛し表彰してはどうか。

問　地域で元気に活躍される高齢者を「いきいき元気高齢者」として称賛し表彰してはどうか。

答　100歳のお祝い事業の他、さくら賞、けやき賞など現行の表彰制度がある。

問　予約の殺到を避けるために、指定方式に変更すべきでは。

○ワクチン接種3回目について



▲在宅高齢者への訪問理美容サービス(名古屋市)

答　月2度に分けて行う接種券の送付やインターネット予約の利用推進等を行い、スマートな接種体制を準備していく。

○学校力パンの重量化について

荷物の重量化問題の現状は、以前より改善されたと理解しているが、保護者、児童生徒

の意見や実態を捉えるため、アンケートの実施を研究したい。

○電子図書館について

問　デジタル社会が加速する中、スマートフォンやタブレット等で本を借り読める電子図書館を市に導入してはどうか。

答　多くの導入経費、維持経費がかかる。調査研究をしたい。

問　与布土地域自治協議会が総務大臣賞を受賞された。何が評価されたのか。

答　過疎地域における持続的な発展を目指し、地域の課題解決に取り組み、創意工夫が図られている優良事例として表彰された。この事例は中山間地における持続可能な地域を目指すモデルになつていくと認識している。

問　地域コミュニティの核としての地域自治組織の重要性はさらに高まっている。課題は。

答　与布土で高く評価されたのは、何に取り組んだかではなく、どのように取り組んだかという過程の部分。性別、年齢関係なく、地域外の方も参加され、どういった事業の進め方がこれらの方々に喜ばれるかを考えながら活動された。

答　現在の市内自治協を支えていける年代は65歳から75歳。10年経つと新たな年代に変わる。この時、地域を支える人が減り、支えられる人が増える。そのよ

うに若い世代が参加すること、若い世代が楽しみながら主体的に関わることを定着させることが、今必要である。

問　そのため行政は具体的に何をするのか。

答　地域自治協議会の学習の場、研修の場、基礎となる情報を探求する「場づくり」。そのような支援を心がけたい。



▲与布土自治協で始まった『かじかカフェ』
魅力的な住民交流の場となっている



藤本邦彦



- 環境問題の現状について
- 問 公害防止協定の対応は、すべての事業者と締結されている状況ではない。
- 答 公害等の苦情があり、行政指導を行った事例はあるか。
- 問 一例として、騒音の基準値を超えていた事業者に改善防止策を講じていただいた。
- 答 現在、市民からの苦情等はあるか。その対応は。
- 問 野外焼却、騒音、水質、臭い等の問題の苦情がある。その対応として、職員が現場確認し原因の追究と改善策の指導、対応を依頼している。
- 問 市の施設からの悪臭による苦情があるが認知しているか。
- 答 度々、苦情が寄せられ現場調査と原因究明を行っているが、原因の特定が困難である。
- 問 この夏の猛暑と悪臭による精神的な心労は計り知れない。当事者の声に行政としてさらなる対応が必要ではないか。
- 答 重要な問題として十分認識



▲騒音や悪臭に困ったときは、気軽に公害苦情相談窓口へ

- 農業振興について
- 問 早期に朝来ブランド米に取組む必要があると考えるが。
- 答 プロジェクトチームを立ち上げ取り組みたい。
- 問 農機シエア等農機具更新を促進する施策を検討すべきだ。
- 答 条例の規定に基づいて、公害発生の原因究明、改善指導や助言等の実施は重要である。また、公害防止協定は事業者の理解を得ながら締結に努めていく必要がある。
- 問 所有状況を収集し、地域で活かせる仕組みづくりと農業機械に係る支援を研究したい。
- 答 水稲にカーボンクレジットが適用できなか。
- 問 国及び民間の研究機関の動向も十分注視し、研究する必要があるとを考えている。
- 敬老施策について
- 問 温泉ミニデイを自治協の敬老事業に位置付けてはどうか。
- 答 新たな共同事業として良いアイデアと思っている。
- 問 糸井の大カツラの保存状況を改めるとともに管理道の位置付けも林道等に改めるべきだ。
- 答 樹木医等と適時相談し最善の方法を考えたい。大カツラに

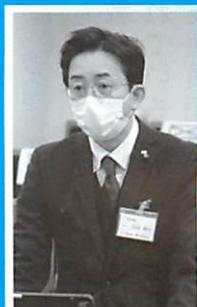


▲市道大路ダム線を優先道路とするため交差点改良と横断歩道設置を



朝来の活力ある
まちづくりを拓く

森田 龍司



目配り、気配りの行政を！

吉田 俊平



- 市道の交差点改良について
- 問 市道大路ダム線が優先道路となるよう外側線や横断歩道を含む交差点改良を行うべきだ。
- 答 現地調査、周辺地域のご意見などもお聞きし、児童生徒など市民の皆様の安全確保を第一優先とする交差点の安全対策について調査研究を進めたい。
- ※他に、「健幸づくりについて」「教育振興について」、質問しました。

デマンド型乗合タクシーを

横尾正信

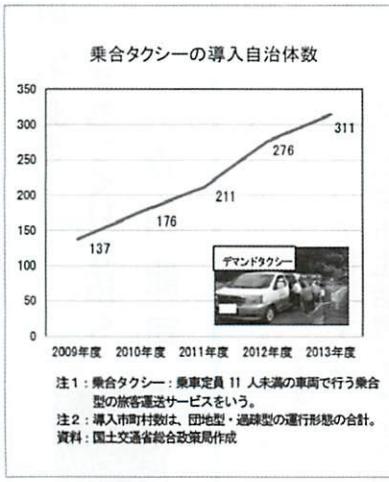


○乗り合いタクシーの導入を 朝来市のような農村地域

問 朝来市のような農村地域は公共交通が不便な車社会。高齢

者は免許を返さなければいけないが、
動、買い物難民になつてしまふ
足弱の免許を持たない高齢者の
悲痛な声になんと答えるか。

停留所で乗降するアコバスのシステムでは、足弱の高齢者は救えない。玄関先で乗降できるタクシーの便利さと、乗合バスの低料金を組み合わせた『予約型乗り合いタクシー』でこの



▲2018年には500自治体を突破

○予算編成過程への市民参加について

問 ついで 地域自治協議会に地域づくり

答 地域協働の基盤である地域
自治協議会の役割を踏まえて、
現在の包括交付金制度を検証す
る過程で参考したい。

○生涯学習の推進について
問 生涯学習の地域政策としての意義が重要性を増している。二年前の行政組織改編で目指した地域経営に寄与する生涯学習政策は実践できているか。

答 市民講座等での学びや活動の成果を地域づくりに生かせる仕組みが今後さらに重要になる。生涯学習推進が協働のまちづくりに繋がる認識をもつて取組む。

○教育行政について

G I G Aスクール構想には教員の負担軽減の効果も期待されている。国基準以上のI C T支援員配置に取り組まれたい。



▲市民が客観的に判断するためには
適切な情報提供が必要

答 現在2名を配置。機器を有効活用し、教職員の校務負担軽減に資するべく検討したい。

効活用し、教職員の校務負担軽減に資するよう検討したい。

問 予防接種事業は市民本位の取組を。帯状疱疹ワクチンの情報が十分届いていない。接種勧奨と公費助成に取組むべき。
答 有益な情報提供のあり方にについて検討したい。公費負担制

度導入については、国の動向を見極めつつ、対象者・接種方法等医師会と協議の上判断しなければならないと考えている。

支援策を検討、推進する必要があると考える。**問**ひとり親家庭の生活は本当に深刻だ。「食費を削っているため休校中に子どもの体重が減つた」とも聞く。子どもが悪影響を受けないよう給食費の無料化を図るべきでないか。

仕事と介護・子育て

両立支援ガイドブック



▲状況認識とニーズを把握し、
支援策の確立を

問 昨年、女性の自殺者数が7025人（前年比934人増）を記録した。若い女性、高校生の自殺が増加している。生きる促進要因より、阻害要因である失業、不安定雇用や将来への不安、絶望などが強くなれば、落ち込んで周囲が見えなくなり生きる気力を失うことに繋がる。朝来市の実態、市長の思いは。

答 令和元年の調査で、「世帯収入200万円未満」が14%、「経済的理由で過去1年に食料品、衣服が購入できなかつた」が14%であった。子どもの貧困対策は、実態把握を含め有効な

○貧困者に緊急雇用対策を！

答 子育て家庭の経済負担軽減の重要性は認識している。慎重に判断したい。

問 民間会社9社が参加するお仕事大相談会に市役所はなぜ参加しないのか。再任用を減らし、緊急雇用制度を検討すべきでは。

答 お仕事相談会は、子育て中の方を対象に時間短縮など柔軟な働き方ができる事業者とのマッチングを行なうもので、市役所勤務になじみにくい。多様な働き方の推進、子育て家庭や窮世帯の支援に通じる任用の在り方について、今後検討したい。

子どもの貧困家庭の

実態調査と支援策を



日下
茂



政務活動費はこんなことに使ってています

政務活動費は、議員の政策提言に必要な調査研究・研修などの経費として、各会派に対して交付されています。交付額は、各会派の議員1人当たり月1万円です。令和3年に改選があったため、ここでは、令和3年4月から10月分の政務活動費収支報告をお知らせします。

今年度も昨年に引き続き、いずれの会派も新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策として、先進地への視察研修や面談等は控え、研修費（オンライン研修の受講）、資料購入費、広報費及び広聴費のみ支出し、不用額は返納しました。

政務活動費收支報告一覽（令和3年4月～10月）

(单位: 田)

	清風の辯	改革クラブ	日本共産党 朝来市議員団	朝来市議会 公明党	コンセルヴア トゥール	合 計
人 数	7人	4人	2人	1人	1人	7人
※令和3年7月～						
収入	政務活動費	490,000	280,000	140,000	70,000	40,000
	計	490,000	280,000	140,000	70,000	40,000
支出	調査研究費					0
	研修費	90,880				90,880
	資料作成費					0
	資料購入費				52,628	52,628
	広報費			84,920		84,920
	広聴費			88,745		88,745
	その他の経費					0
	計	90,880	0	173,665	0	52,628
収支差引残額		399,120	280,000	△ 33,665	70,000	△ 12,628
(実質政務活動費額)		(90,880)	(0)	(140,000)	(0)	(40,000)
						(270,880)

シリーズ ようこそ朝来市へ!! ⑬

古川 陽平さん

美味しい農作物を

子どもたちへ

(元津区在住)

と楽しみです。

農作業は、祖父母が亡くなりましたが、近所の先輩農家の方や農家仲間からアドバイスをいただき、本当に助かっています。

○今後について

神戸市から朝来市へ移住して3年目。子どもたちにダンスや水泳を教えるながら、農業に取り組んでおられる古川さんを紹介します。

化になればと頑張っています。

子どもたちに農作業体験や、美味しい農作物を食べてもらえる仕組みを考えています。

元津区で若者3人協力しながら農作業をしています。耕作放が棄地を有効活用し、地域の活性化につなげています。

○移住のきっかけは
祖父母が元津区で農業をしていましたが高齢になり、それまで当然のように食べていた美味しい農作物が食べられなくなり、改めて祖父母への感謝に気づき、後継者になろうと移住を決意しました。

○農業に興味があつたのか
祖父母の手伝いはしていましたが、農業に興味がなく、技術者に憧れていきました。

○困っていることは
移住して3年目になりますが、その内の2年間はコロナの影響により地域の行事もなく、地域に迷惑をかけていいなか心配です。

これから地域行事に参加し、地域の方と親しくなると思う



▲美味しい野菜づくりにこだわる古川さん

朝来市議会へ ご意見をお寄せください

朝来市議会では、皆さんからの多様なご意見を議会活動へ反映させることや、議会の広聴機能の充実・強化を図るために、令和3年5月から本庁舎（1階、5階）と各支所窓口に、『ご意見箱』を置いています。

広く、市民の皆さんからのご意見をお待ちしています。市議会に対するご質問、ご要望、ご提言など、お気軽に寄せください。



▲本庁1階総合窓口に設置の意見箱

3月定例会の予定

月	火	水	木	金
	3/1	2	3	4
		本会議		本会議
7	8	9	10	11
			一般質問	一般質問
14	15	16	17	18
一般質問	産業建設 常任委員会	総務 常任委員会	文教民生 常任委員会	産業建設 常任委員会
21	22	23	24	25
	総務 常任委員会	文教民生 常任委員会		予算決算 特別委員会
28	29	30	31	
		本会議		

傍聴など、お問い合わせは
議会事務局 **TEL 672-1930**